

針ノ木岳（扇沢・針ノ木雪溪から船窪小屋を経て七倉山荘へ）

中部山岳縦断山行

2015 年 7 月 4 日(土)雨から薄曇り、5 日（日）薄曇り時々薄陽
メンバー：世田（リーダー）、テン、J0、佐々木（記録）

アクセス：

飯田山本から中央道で安曇野 IC へ向かう。
前泊は「アルプス安曇野ほりがねの里」

天候判断

前泊地で雨の朝を迎える。取りあえず扇沢へ向かい車中にて天候の回復を待つ。予報及び WX レーダーの状況から 9 時過ぎには出発可能と判断。

雨は予測どおり概ね 9 時過ぎには小止みになった。状況によっては大沢小屋で停留することを腹案として、準備を整え 10 時頃に出発した。

扇沢から雪溪取り付き：

扇沢から大沢小屋までは、整備された登山道及び作業道を進む。大沢小屋の少し手前に一本橋の短い渡渉がある。大沢小屋は閉まっていた。

大沢小屋から雪溪取り付きまでも整備された登山道を進む。取り付きの場所も容易に特定できた。

途中、早朝から登った数パーティーとすれ違った。いずれのパーティーも雨により撤退を決めて引き返してきたとのこと。早朝から無理に強行せずに車中で待機したことが功を奏したようだ。



雪溪取り付きから針ノ木小屋

取り付きにてアイゼンを装着しストック・ピッケルを携行して進んだ。天候は順調に回復しつつあった。時折、ガスが濃くなるものの持続時間は短かった。爺ヶ岳も顔を見せ始めた。

斜度が急になるあたりに沢があったので給水した。地図では水場はもう少し上部にあると記されていたが、見渡したところ見あたらなかった。どうやら雪溪の下に埋もれているらしい。

小屋の直下はやや急登となる。少し雪が緩く歩き難いが危険を感じる程ではなかった。鯉のぼりが小屋への目印として設置してあった。

概ね15時過ぎに針ノ木小屋に到着した。受付とテント設営を済ませ、針ノ木岳をピストンすることとした。



針ノ木岳ピストン

テン場を少し登ったところから雪を辿った。途中に数カ所のトラバースがあったもののステップがしっかりしており問題なく通過できた。小屋のスタッフが直前に整備してくれたようだ。

山頂直下では薬師方面から黒部上流を見渡すことができた。また、程なくして到達した山頂からは、立山や剣岳、黒部ダムを眺望することができた。登って来て良かったと思える瞬間だった。

さらに嬉しいことに、明日の天気予報が良い方向に変化していた。雨の予報が、午前中は曇り時々晴れに修正されていたのだ。

感動と喜びを胸に、山頂を後にして慎重にテン場へ戻った。食事の準備をしつつこの山行が素晴らしいものとなるよう祈念して皆で乾杯した。



二日目の朝

就寝時からポツポツと雨が降り出し、夜半には本降りとなったが、これは想定の範疇だった。翌朝、目覚めた時には雨は止んでいた。テントの外に出れば、綺麗な雲海が広がっていた。

針ノ木小屋から蓮華岳

北アルプスらしい気持ちのいい稜線を歩くことができた。眺望も素晴らしいものだった。蓮華岳に到着する頃には穂高連峰から後立山連峰まで、北アルプスの嶺々が勢揃いしていた。



蓮華岳から七倉岳

蓮華の大下りは、その名の通りに長い下りが続く。正直なところ、後半は辟易していた。北葛岳に登り返した後も、七倉岳までは登り下りを繰り返した。一部に岩場・鎖場もあるが、慎重に進めば何ら問題はなかった。

それよりも、登山道の数カ所に散在した熊の糞が気になった。テンの熊鈴、佐々木のホイッスルで警戒しながら進んだ。

七倉岳では、某大手検索サイトのスタッフがマップのデータを収集していた。登山道のストリートビューでも作っているのだろう。

船窪小屋のスタッフは鐘を鳴らして歓迎し、お茶の接待までしてくれた。親切な感じのいい小屋で、つつい居心地のいいベンチで長居してしまった。食事も美味しいらしく、BS テレビのグルメ番組が取材に訪れていた。



下山道

濡れた木の根っこが滑りやすく慎重を要した。梯子の連続もあるが、しっかりとした梯子で問題はなかった。ほぼ予定時間で無事に下山した。

七倉山荘から扇沢、浜松へ

七倉温泉で早速ひとつ風呂！と行きたいところだったが、着替えを車中に残していたので暫しお預けとした。扇沢までのアルプスタクシーは約6000円で、とても愛想のいいドライバーだった。

車を回収した後は上原（わっぱら）の湯で一汗流し、安曇野のベイシアに隣接する蕎麦屋でお腹を満たした。帰路は、飯田山本を過ぎたあたりから雨模様だったが、浜松に到着した頃には小降りになっていた。

最後の最後まで天候に味方された山行だった。

所感

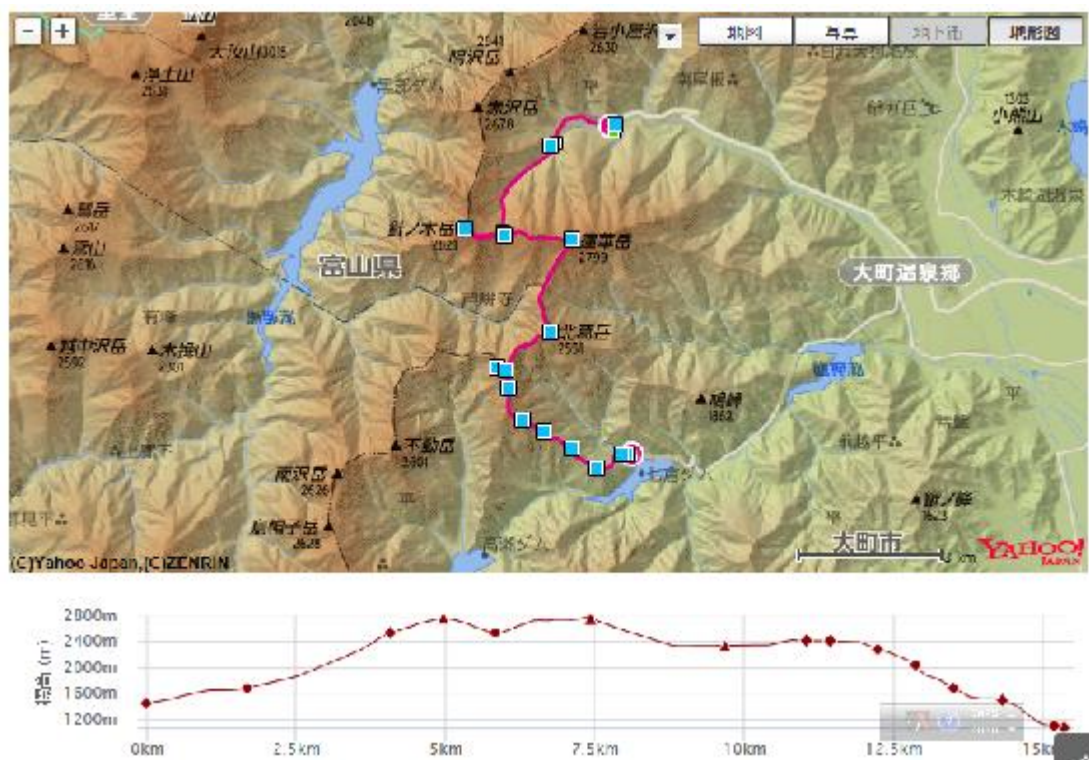
湿った空気感、レインウェアの蒸れ、泥濘、身体の濡れ。

それらと引き替えに楽しめるもの。

ガスがとれて行く際の期待感、レインウェアを脱いだ時の爽快感、予報が好転した時の何とも言えないワクワク感、雨に濡れて生き生きとしている草花・・・。

これまで避けていた梅雨の山行だが「これもいいんじゃない！」と思うようになった。

行動概要



1 日目

扇沢 10:00 11:10 大沢小屋 11:15 15:20 針ノ木小屋 16:00 17:10 針ノ木岳 17:20

18:00 針ノ木小屋泊

2 日目

針ノ木小屋 05:00 06:10 蓮華岳 06:30 09:10 北葛岳 09:30 11:10 七倉岳 11:30

11:45 船窪小屋 12:30 15:45 七倉登山口 16:00 16:10 七倉山荘

(佐々木 記)